

L'aile d'Howl

【ライル・ドウル・ホウルの翼(伝説)】

2013年7月号



銘苅選手に続き、内林選手も花巻に来てくれました！震災後もずっと続く絆に心から感謝です！

ドイツ・ブンデスリーガから内林選手が来花

本場で活躍するプロ選手が花巻にキター!! 6月23日、ドイツ・ブンデスリーガ1部のフランクフルターHCに所属する内林絵美選手が、花巻クラブジュニア団員を対象に講習会を開いてくれました！内林さんは2011年7月に、ドイツで集めた義援金を直接被災地に届けるため、自転車で東日本を縦断して岩手まで来たという逸話の持ち主。その際花巻で開催された北東北インターハイ直前チャリティイベントにも参加し、被災地岩手に元気を与えてくれました。この日も、夜通し運転して朝に花巻に到着したばかりでしたが、持ち前の元気と明るさで、花巻で練習に励む子供たちに大きな夢を与えてくれました！



9時からの講習会は、前半は1~4年生、後半は5、6年生の2グループに分けて行われました。今回は、「ドイツの小学生がやっている練習を体験してみよう！」というテーマでのご指導をお願いしました。ドイツでも小中学生の指導に当たっているという内林選手は、コーディネーショントレーニングの動きを取り入れた練習を非常にテンポ良く進め、子供たちも普段とは違ったメニューに興味を持ちながら一生懸命取り組んでいました。マットや平均台を障害物競走のように配置したコートを回ってシュートまでいく練習や、自分で前に投げたボールをキャッチして速攻のようにシュートを決める練習は、感覚を養うのにいいメニューだと思いました。最後に内林選手は、体が大きなくても「ハンドボール

が大好きで、一生懸命やっていたら本場ドイツでプレーするという自分の夢が叶った」という自分の経験をもとに、「努力は必ず報われる。普段の練習を全力で頑張り、指導してくれる人たちの言葉をよく聞いて理解してほしい」、そして、元気にハンドボールを楽しむことという大切なメッセージを子どもたちに伝えてくださいました。内林選手の言葉に、子どもたちも目を輝かせながら、次に会う機会があったらもっと成長した姿を見せたいという思いを強くしていました。内林選手、一時帰国中の貴重な時間にご指導くださりまして本当にありがとうございました！今度は是非、みんなでドイツまで応援に行きたいな~!!



目指せ岩手県の頂点 熱く燃えた岩手県民大会

7月6日~7日、花巻市総合体育館にて岩手県民大会が開催されました。今年は東京都で開催される第68回国民体育大会の県予選となるこの大会。多くのチームが全国各地で活躍する学生を呼び戻し、若いメンバー構成で試合に臨んでいました。まず女子の部ですが、不来方クラブ、白梅三英英会、岩手桐花クラブ、そして富士大学の4チームが準決勝に駒を進めました。決勝に勝ち進んだのは大会8連覇を目指す富士大学と不来方クラブ。少数精鋭で勝負に臨んだ不来方クラブに対し、富士大学は豊富な運動量で対抗し、前半を10点差で折り返すと後半も優位に試合を進め、28-15で勝利。見事優勝の栄冠を手中に収めました。男子の部はHC岩手、富士大学、白亜クラブ、そして柳家矢巾クラブがそれぞれ準決勝に進出。白亜クラブは花巻での全国選抜大会当時の主力メンバーを集め、



富士大学との準決勝ではほぼ学生同士の戦いとなりました。白熱したハードプレーが展開される中、やはり日々共にプレーしている富士大学が前半一歩リードすると後半は徐々に突き放し、30 - 19 で決勝に駒を進めました。一方、本命 HC 岩手と対戦したのは、不來方高校出身の学生チームである柳家矢巾クラブ。関東学生リーグで活躍する選手たち、さらに年代別日本代表にも選出されている佐々木亮輔 GK や村田知紀選手が加わり、HC 岩手と互角の試合を展開します。柳家矢巾クラブは若さあふれるプレーで前半を5点差で折り返しますが、後半に入りHC 岩手が国体向けチームの意地で一気に追い上げを図ります。最後は1点のリードを守りきった柳家矢巾クラブが競り勝ち、堂々の決勝進出を果たしました。その柳家矢巾クラブは、決勝でもスピードに乗ったプレーを展開し、富士大学と接戦を繰り広げます。富士大学が一歩リードして後半に突入しますが、その後は一進一退の攻防が続く、勝負の行方が見えないまま終盤を迎えます。しかし、残り1分で1点

リードした柳家矢巾クラブが富士大学の最後の攻撃を許さず、タイムアップ。柳家矢巾クラブは11年ぶりとなる県民体での優勝を果たしました。

日曜日には小学生の部も開催され、県民体としては初めての試みとなるU-8(小学校1・2年生)の部も行われました。ゴールの半分くらいの身長しかない小さなプレーヤーたちが一生懸命ボールを追いかける姿に、サブアリーナに詰め掛けた親御さんたちも熱い声援を送っていました。また、高学年男女の部は総合体育館アネックスで行われ、男子は矢巾フェニックス、女子はリトルハンドが接戦をものにして優勝しました。



花巻クラブジュニア恒例の親子対決！勝ったのはどっち？



去る7月14日、花巻クラブジュニア恒例の親子対決が開催されました。会場となった若葉小体育館にはたくさんの親御さんが集まり、子供たちと一緒に爽やかな汗を流していました。初めてハンドボールをやったという親御さんももちろんいましたが、驚くのは通称「隠れハンドボーラー」が密かに多いこと！なんだか動きがサマになっているな～と思って聞いてみると、「実は・・・中学校のときやっていたんですよ」とか、実は岩手県ハンドボール協会長の教え子ですとか、様々なエピソードが出てくるわけです。5分ゲームを繰り返し行い、総得点を争うという形式で試合は進み、序盤は大人チームが大量リードしましたが、徐々に疲れが見え始めた大人を相手に小学生も奮戦！最後は44対46で大人チームが一歩リードして勝利しましたが、非常に和気藹々とした雰囲気でのゲームを皆さん本当に楽しんでいただけたようです！

いい汗をかいた後はやっぱり！ということで、場所を花巻市内の公園に移し、いざバーベキュー大会！その前の週は連日雨模様でしたが、梅雨の晴れ間か、はたまた普段の行いの賜物か(？)、全く雨に当たらずにバーベキューを楽しむことができました。

8月には全日本マスターズ大会に伴って来日する台湾の小学生チームとの国際親善試合、そしてお盆には恒例の東日本大会「チェリーカップ」が控えています！この元気パワーを持って、次の試合も頑張ってくださいね！

L'aile d'Howl (ライル・ドウル)
2013年7月号
2013年7月25日発行
発行：花巻市ハンドボール協会